

令和4年1月号

鳥取市立

# 賀露小学校だより



TEL 28-1005 FAX 31-3993 児童数329名(1月26日現在)  
URL <http://www.torikyo.ed.jp/karo-e/> E-mail [karo-e@mailk.torikyo.ed.jp](mailto:karo-e@mailk.torikyo.ed.jp)

## コロナ禍の子どもたちに希望の星を！

河中 俊文

コロナウイルス感染症のオミクロン株が、猛威を振るっています。特に学校や塾など子どもたちの生活の基盤となるところで、相次いで感染が報告されています。コロナ禍が叫ばれるようになってもう2年、子どもたちの生活は大きく様変わりしました。人との関わりの中で学んでいくことは、子どもたちの成長にとって、欠くことができないことですが、今その関わりに、これまで以上に制限がかけられ、おびやかされようとしています。「大きな声を出してはダメ」、「友だちと向かい合い、話すことも、給食を食べることも、遊ぶこともダメ」、「リコーダーを吹くこともダメ」など、子どもたちの命と健康を守るという、最優先課題のために、大人たちが、子どもたちが子どもらしく生きる権利まで奪っているのではないかというジレンマを、今ほど強く感じることはありません。

私たちは誰も、自分の意思で、生まれてくる時代や環境を、選ぶことはできません。しかし、その環境の中でどう生きるかは、それぞれの意思に任せられています。つまり、コロナ禍という環境の中での私たちの生き様は、私たちが自分の意思で決めることができるのです。ただ、子どもは、大人の保護のもとで生きていますから、コロナ禍の子どもたちの生活をどう守り、彼らの心と身体の成長をどう保障するかは、関わるすべての大人の知恵と愛情にかかっていると一言でも過言ではありません。そんなコロナ禍での子育てのキーワードは、「希望を示す」「関わりを高める」「しなやかに今を生きる」です。

コロナ禍の制限の多い生活では、大人でさえ先の見通しが立たず、暗い気持ちになり、ストレスをためがちになるものです。ましてや、子どもたちが抱えるストレスは、いかばかりかと思えます。こんなときこそ「真っ暗闇でも、星は見つかる」とあるように、コロナ禍だからこそ、見えるすばらしい星々を子どもたちに示し、子どもたちが生きる「希望」としてやりたいものです。コロナ禍であっても、素晴らしい生き方をしている人は、たくさんいます。コロナ禍で県外には出られないけれど、身近なところにまだ気が付いていない素晴らしいものがたくさんあるはず。そんな人の値打ち、ものの値打ち、自然の美しさなどを、今こそ子どもたちに「希望の星」として示してやってください。

コロナ禍で子どもたちが関わる人の数は、とても限られています。これは、仕方のないことですが、人との関わりの中で学び、人間となっていく子どもたちにとって、人との関わりを高め、やることは、大人が大切にしているべきことです。「相手を思いやる愛語」、「あいさつ」、家庭でしかできない「スキンシップ」は、特に大切にしたいものです。

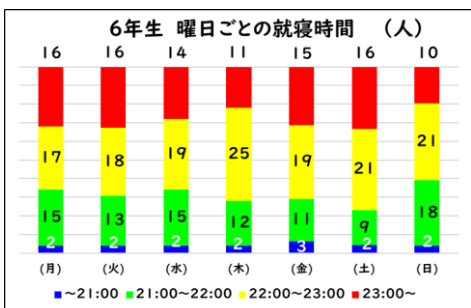
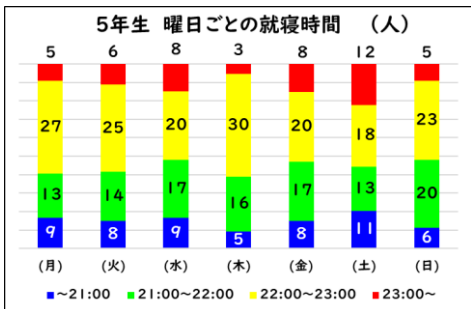
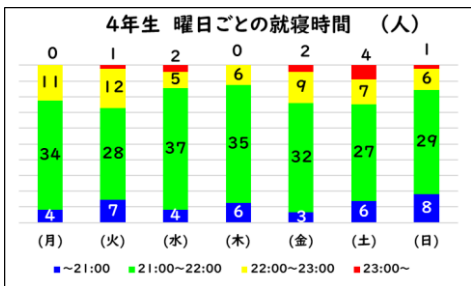
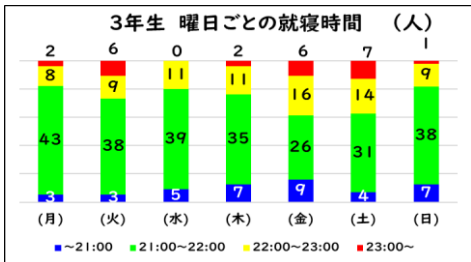
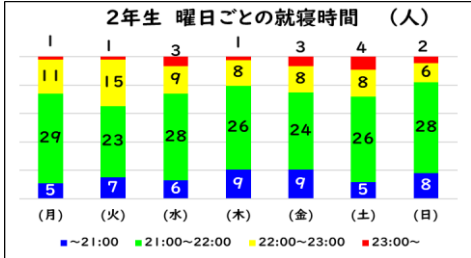
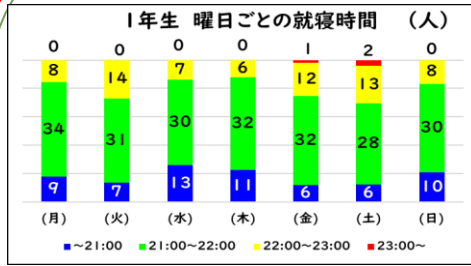
コロナ禍で、できなくなったことを嘆き、将来の不安におののき、今を無為に過ごす姿を、大人として、子どもたちには、決して見せたくはありません。コロナ禍でも、柔軟な発想でしなやかに、今できることに全力で取り組もうとする姿を見せることにこそ、大人としての矜持(プライド)があると思えます。そんなたくましく、前向きな大人の後ろ姿にこそ、子どもは何よりも、今を生きる希望と勇気を感じるはず。

**When it is dark enough, you can see the stars!**

**真っ暗闇でも、星は見つかる**



# 学力向上に挑む③



先日「学校と家庭 チームで目指す子どもたちの学力向上」でも、全校の就寝時間についてお伝えしましたが、今月の「学力向上に挑む③」では、学年ごとの就寝時間についてお知らせします。

賀露小学校では、  
**低学年：21時**  
**中学年：21時半**  
**高学年：22時** を就寝時間の目安としています。

アメリカ国立睡眠財団は、6～13歳の理想的睡眠時間として、9～11時間を推奨しています。

ただ、今回の調査結果を見ると、低学年でも平日の23時以降に就寝する児童が見られました。左のグラフからも分かるように、全ての学年で23時以降に就寝している児童が見られます。その数は学年が上がるにつれ増加し、6年生では、全ての曜日に日付を超えてから就寝する児童があり、23時以降に就寝する児童が、10人以上いました。

子どもの睡眠には、①「記憶を整理する」(不要な情報を削除し、必要な情報を脳に固定する)、②「脳や心身を休ませる」(脳・筋肉・神経を休ませる)、③「脳や心身を発達させる」(睡眠中に脳からは成長ホルモンが分泌され、脳を正常に働かせたり、骨や筋肉など身体にもよい影響を与えたりする)の3つの役割があります。

昔から「寝る子は育つ」と言いますが、睡眠は、子どもの成長にとって、とても大切なものです。子どもたちの健やかな成長のために、睡眠時間を確保できるように、ご協力をお願いいたします。

※2回目の生活時間調査を1月31日(月)から実施します。  
 ご協力をよろしく願います。

# 2月の主な行事予定

- 2月1日(火) 全校朝会
- 3日(木) 新入児保護者説明会
- 4日(金) かもめ教室
- 7日(月) 湖東中学校新入生保護者説明会(湖東中)
- 11日(金) 建国記念日
- 18日(金) かもめ教室
- 23日(水) 天皇誕生日
- 25日(金) かもめ教室

3/3(木) 6年生を送る会、18日(金) 卒業式、24日(木) 修了式・離任式、25日(金) 春休み～4/6(水)

### <基本的下校時刻>

- 1年 14:45 水曜日 14:25
- 2年 14:45 火曜日 15:35  
水曜日 14:25
- 3年 15:35 水曜日 15:15
- 4～6年 15:35 水曜日 15:15

## チーム賀露コーナー



今月のチーム賀露コーナーは、湖東グリーンゾーン賀露支部長の石黒智さんです。

### 「地域と学校を結ぶ⑥」

～湖東グリーンゾーンの活動～

賀露支部はより地域に密着した活動にしようと、本体の「湖東グリーンゾーン推進協議会」の発足から2年後の平成9年7月に設立しました。4支部の中では一番早く、今年で25年目を迎えます。当時の児童や生徒も保護者となり、その歴史を感じます。

活動の目的は「子どもの非行防止と健全育成を図る」となっており、各種研修会や「環境浄化活動」の海岸清掃、重点目標である「声かけ」を中心とした「ふれあい活動」のあいさつ運動と通学路安全点検巡回活動などを実施しています。

「地域の子どもは地域で守り育てる」という基本理念は一貫して変わることはありません。コロナ禍で活動は制限されますが、「継続は力なり」、今後とも湖東グリーンゾーンの活動にご理解とご協力をお願い致します。

湖東グリーンゾーン賀露支部長

石黒 智